

The Magic of ROTARY
ロータリーのマジック

2024～25年度年度
国際ロータリー会長 Steohanie Urchick



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム
第32回例会 2025.6.2 (#2447) 舞の間
例会ホスト・紹介係 加賀会員
受付係 乳井会員 荘村会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 高瀬 YE

卓話 「認知症の予防×経済対策の研修」

認知症アドバイザー協会 (株)ダイナブライ
代表理事 廣瀬 豪輝氏
紹介者 須藤会員

前回の報告
第31回例会 2025.5.26 (#2446) 舞の間
例会ホスト・紹介係 吉田会員
受付係 浅野会員 須藤会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 杉山会員

卓話 「ファンドとコーポレイトの違い」

(株)丸の内キャピタル代表取締役社長
藤田 正敦氏
紹介者 荒川会員

今期のモットー: 「親睦を通じて奉仕を実践する」

会長報告

- 1) 本日は、ファンドとコーポレイトについて藤田様に卓話をいただきます。後ほどよろしくおねがい致します。
- 2) 4/14日にこちらからPolio 根絶キャンペーンをスタートさせた故金様より、御礼のはがきが届きました
- 3) 先週のクラブ協議会では、みなさまと一年間を振り返り、次年度へ活動を繋ぐことが出来たと思います。今後とも宜しくおねがいいたします。
- 4) 6月23日の最終例会には皆様、ご参加ください。

幹事報告

- 1) 先週のクラブ協議会には各委員長の皆様、お疲れ様でした。現委員長は業績報告書を、次年度の各委員長は活動計画書をご提出下さい。
- 2) 入会希望者の公示をおこないました。お諮りください。

例会記録

会員総数 60名 出席会員数 25名
ゲスト 1名 ビジター 0名
その他 0名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

荒川会員: 本日の卓話者・藤田様宜しく
お願いいたします。
植芝会員: 先日は全日本合気道演武大会に
多くの皆様にお越しいただきました。
ありがとうございました。

次回予告

第33回例会 2025.6.9 (#2448)
会場: 舞の間
例会ホスト・紹介係 山本会員
受付係 杉山会員 内田会員
司会者 山田会員
ソングリーダー 園田会員

卓話
「ファミリーマートのおむすび経済圏」
ファミリーマート社長 細見研介氏
紹介者 荒川会員

最終例会(会長・幹事の慰労会も兼ねます)

6月23日(月) 17:30 受付開始 17:45 例会スタート

会場: ホテルマンダリンオリエンタル 38F 「ケシキ」

ドレスコードはスマートカジュアル(男性はジャケットをご着用下さい)



ROTEX から見た青少年プログラム

Rotex 委員長 寺嶋千陽さん 副委員長 鈴木結未歩さん(5/16 卓話)



初めまして。第 56 期 ROTEX の寺嶋千陽です。本日はこのような卓話の機会を頂き、大変嬉しく思っております。本日は、青少年交換プログラムについてご紹介させていただきます。よろしくお願いいたします。

本日は、青少年交換プログラムの概要、ROTEX とは、活動報告の 3 点をお話させていただきます。

まず簡単に私の自己紹介をさせていただきます。

改めまして、第 56 期 ROTEX 今年度の委員長を務めております、寺嶋千陽です。出身高校は武蔵野大学高等学校で、2020 年に田無ロータリークラブさんにスポンサーをしていただき、ベルギー王国に派遣していただく予定でしたがコロナであいにく中止となってしまいました。現在は、慶應義塾大学の文学部にてアメリカ文学を学んでおります。同じく第 56 期 ROTEX 副委員長の鈴木結未歩です。出身高校は愛国学園高等学校で、東江戸川ロータリークラブさんにスポンサーをしていただき、ブラジルに派遣していただく予定でした。現在は、順天堂大学の国際教養学部にてグローバルヘルスを学んでおります。

それでは本題に移らせて頂きます。

まず、ロータリーの青少年交換プログラムについてです。ロータリー青少年交換プログラムは、15 歳から 19 歳の青少年に 1 年間交換留学の機会を提供する「青少年奉仕活動」です。現在、100 以上の国で、約 530 地区が連携し、このプログラムが行われています。

始まりは 1929 年、フランスのニースでの交換留学です。この後、1975 年に公式的に「ロータリー青少年交換」が認定され、現在まで 95 年間続いています。

主な目的は、海外交流の機会を提供し、国際理解、異文化理解と親善の心を育むこと、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらす、世界の平和を実現するリーダーを生み出すこと、です。青少年たちは小さな親善大使として世界に派遣され、母国と派遣国の架け橋のような存在になれるように交流を行います。

簡単に組織形態についてご説明します。こちらの黄色い部分が青少年交換委員会です。学生を取りまとめ、地区におけるイベントを企画、開催しています。例えば、月に 1 回青少年交換委員会を開き、学生の状況を共有したり、問題解決案を話し合ったりしています。

私達 ROTEX もこちらに所属しています。

現在、2580 地区では日本に来ている海外学生が 10 名、来年度に海外に派遣される日本人学生が沖縄に 1 人を含む、10 名います。

2580 地区は規模が小さいので学生とロータリアンの方々との距離も近くあたたかな雰囲気特徴的です。

具体的なプログラム内容は「学生を海外に派遣すること」以外は地区によって異なり、2580 地区の青少年交換プログラムは 5 年一貫のプログラムになっています。

まず、6 月ごろに選考試験が行われ、合格した中高生は「派遣予定学生」となり、海外に派遣されるための準備を行います。派遣予定学生は、来日学生とともに地区青少年委員会の行事に参加する他、スポンサークラブの訪問や、月 2 回行われる茶道、フィールドトリップ、ジャパントアなどのさまざまな活動を通じて、日本の文化について派遣先の国で伝えられるように学んでいきます。

その後 2 年目に「小さな親善大使」として海外に派遣されます。現地の学校に通いながら、受け入れ先のホストクラブを訪問したり、世界中から集まった海外の交換留学生と交流をしたりします。その活動内容や頻度は国ごとの地区体系により大きく異なります。学校やロータリークラブでは、日本の文化や現地での生活についてプレゼンするなど、ロータリーの枠を超えた様々な活動を通じて、日本と派遣国の架け橋のような存在になれるように努力していきます。

そして帰国してから 3 年間は、ROTEX として活動します。主に日本に滞在している来日学生のサポート、プログラム 1 年目である派遣予定生の留学準備のサポート、青少年交換事業の目的である異文化交流促進のための活動の企画運営、青少年交換委員会のサポート、そして現在行っているような卓話活動をボランティアで行っています。

私からは、ROTEX についての紹介と昨年度の活動報告をさせていただきます。

はじめに、ROTEX についてお話しします。

ROTEX は、ロータリー青少年交換プログラムで海外に一年間滞在した学生に一番近い先輩として、派遣生活のサポートを行います。

ROTEX の活動内容については右側のとおりです。例年このような行事を主に企画運営しております。

3 年目の ROTEX が執行代となります。現在は 56 期が執行代となり、メインで活動を行っています。ジャパントアやサマーキャンプの内容や訪れる場所、フィールドトリップと呼ばれる 1 日遠足の内容や頻度は執行代によって決定されるため年度によって異なります。

毎年、来日学生と派遣学生が日本文化を学び、異なる価値観に対して理解を深めることができるように、さらにコミュニケーションを促進できるような場を作れるように努力しています。

月に一度のオリエンテーションでは、ガバナー提出向けの書類の作成など、派遣に向けて必要な事柄の案内や、英語や派遣先の言語でのスピーチを課しています。スピーチの後は ROTEX からのフィードバックを行い、語学の上達や発表態度に対する指導を行っています。

続いて活動報告に入らせていただきます。

まず、今年度初めての行事として、8 月にサマーキャンプを所沢で行いました。10 日間にわたり、来日学生はひらがなとカタカナのマスターを目標にしながら日本語の基礎を学びました。期間中には、授業の一環として風呂敷講座や書道の体験を行ったり、授業外で日本のアニメ映画鑑賞やショッピングモールでの買い物、伝統的なうちわづくり体験などを通して、日本のポップカルチャーや伝統に触れ、最終日には日本語でのスピーチを行いました。派遣予定学生は、ロータリーや青少年交換プログラムについて知ることや来日学生との関係作りの為に、4 日間のみ参加しました。最終日には自分の興味関心について英語でスピーチを行いました。

9 月 29 日に、江東区有明にあります、東京臨海広域防災公園にて防災学習を行いました。地震発生後 72 時間の避難方法や注意点等の体験学習、日常生活における防災の心得や避難時持ち出しグッズの展示、首都直下型地震の発生をテーマにしたアニメの鑑賞や防災マップで自分の居場所を確認するなどの、災害大国日本ならではの学習の機会を作りました。

実際に引率し、ヨーロッパの家の作りとの違いに驚く姿や実際に地震が起きた時にどのような影響があるのかを学べたという来日学生の声がありました。

続いて、茶道の稽古についてです。こちらは年間を通して行われ、ROTEX はレッスンの日程を講師の方と相談し引率します。日本の重要文化財でもある今日庵という由緒正しい場所でお稽古をしています。今日庵での茶道の稽古は、2580 地区特有の活動で、ロータリアンさんや今日庵の方のご好意で続けさせていただいています。年度末には学生たちは日本の伝統的なもてなしができるようになり、帰国後に家族や友人に茶道を披露する来日学生や、派遣後に現地で茶道を披露する派遣学生が毎年沢山います。2月に行われた 2580 地区の地区大会では、この学びを活かして呈茶席(ていちゃせき)のお手伝いの機会も頂きました。

フィールドトリップと呼ばれる遠足を二ヶ月に一回実施しています。日程調整から行程までのすべてを ROTEX が企画し、引率します。日本の伝統的な建造物をめぐる他、学生同士の交流を促進するために、グループに分けて行動させるなどの工夫を施しています。今年は 10 月に鎌倉で、4 月には江戸東京たても園にてフィールドトリップを行いました。今週末には、三社祭にて神輿を担ぐ体験をさせて頂く予定です。

12 月には、お隣の 2750 地区と合同でクリスマスパーティ

ーを行いました。地区内で活動することが主なこのプログラムです。来日学生によっては同じ国から来日している心強い仲間、また派遣予定学生にとっては、来年度派遣生活を送る中で、この中には同じ国に派遣される学生がいることもあるかもしれません。この出会いが、派遣生活を支え合う仲間を見つけるきっかけになってほしいという思いから、他地区行動の活動を企画しました。

12 月には派遣国の通知が行われました。決定後は、派遣生の気持ちの高鳴りがより感じられるようになり、具体的な派遣に向けての準備が始まります。

青少年交換プログラムの中で最も大きな行事としては、ジャパンツアーが挙げられます。今年度も 3 月 23 日から 3/31 日の 9 日間にわたり、西日本を回る行程で行いました。ジャパンツアーは宿から毎日の行程まで全てのことを ROTEX が決定し、引率を行います。一大イベントの一つになりますので ROTEX 一同、一丸となって準備を行いました。今年度は、東京を出発し、静岡県三島、愛知県名古屋ジブリパーク、三重県伊勢、香川、そして広島での平和学習、大阪、滋賀、山梨を訪れました。各地域の名所を巡る他、忍術村での忍者体験や大阪勝尾寺でのだるま作りなど形に残る体験も取り入れ、充実したジャパンツアーとなりました。来日学生にとっては、日本を巡ることで東京での留学生活では学ぶことのできない日本各地の文化や伝統に触れる良い機会となりました。同様に派遣学生によっては、夏からの派遣で日本について伝えるため日本の魅力を再発見するための貴重な機会となったと感じております。

活動報告は以上になります。

最後にグッズのご紹介とご協力をお願いをさせていただきます。

私たち ROTEX は、先ほどもご紹介させて頂いたように、派遣予定学生や来日学生が日本文化を学び、異文化交流の促進の場所や機会を作ることに努めています。このような私たちの主催するイベントは ROTEX 費というお金から出ています。この予算から学生たちの各施設の入場料や体験料金、飲食費を支出しています。グッズの売り上げは ROTEX 費に回させていただいておりますので、彼らの一年間の日本での文化体験がより充実したものになるように、多くみなさまにご協力いただければ幸いです。

以上となります。改めまして、本日はこのような卓話の機会をいただきましてありがとうございました。今後も青少年交換プログラムへのご協力をよろしくお願いいたします。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	荒川 和幸	FAX:03-3263-9122
幹事	守屋 幸作	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp